

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	8	0	4つの訓練室があり、広さは十分にある。
	2	職員の配置数は適切であるか	6	2	10名定員を特性別に2つの小集団に分けて支援を行っている。一訓練室毎に2名、通常は5名の職員で支援を行っている。昼休憩の際に職員配置を工夫する必要があるが、国の基準は満たしている。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	6	2	以前幼稚園だった施設を活用しているため、構造化された空間になっている。老朽化が進み、昨年は床の張替え工事をを行い、バリアフリーも改めて整えた。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	7	1	昨年度、4つの訓練室の床の改修を行い、日々の清掃がしやすくなった。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	5	1	・ミーティング以外に回覧やノートを活用し、パート職員との共有も図っている。 ・CとAが十分でないと感じる。日々の業務が忙しいが、職員がもっと参画して改善を図ってきたい。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	7	0	保護者の声にも真摯に向き合っていくことを大切にしている。現状維持は退化でしかない。常に改善あるのみ。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	6	0	当然公開している。(事業所からの通信とホームページ)
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	5	1	連携のために来所された専門職の方に運営改善に関する意見を求めることを心掛けている。改善のヒントになることがある。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	7	0	年間購読の「パレット」は療育の具体を学ぶためにとても有効である。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	6	0	5領域を意識した支援を支援計画に位置付けているが、アセスメントや重点の位置づけに職員間のばらつきがまだ多少ある。
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5	1	
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」、「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	6	0	支援計画こそが生命線である。支援のベクトルや具体的支援について保護者は当然であるが関係機関が共有し支援を展開していくことが望まれる。特に、5領域からの観点や、支援環境を整え効果を高めるための家族支援は極めて重要である。それぞれの観点からの具体的支援が「見える化」されていく支援計画に心掛けている。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	6	0	当然心掛けている。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	3	3	・担当者中心であるが、チームを意識している。 チームではいえない。担当者任せで、それをミーティングで共有している。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	6	1	・意図的・計画的な支援プログラムとなるように工夫している。チームとして共有と活用が一層進むように取り組んでいく。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	6	1	5人程度の小集団療育を基本にししながら個別支援を機能化させることを大切にしている。ただ、日々の利用者が固定でないために個別支援のタイミングと内容についての連携の難しさを感じることもある。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	4	2	毎朝ミーティングを行っている。支援プログラムの内容や個別支援についての共有を図っている。朝9時から利用する利用者がある場合など、パート職員がミーティングに参加できないことがあり課題である。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	5	2	問題や気になったことは、日をまたがないよう情報共有とチームでの解決に臨んでいる。児発管がとりまとめをしている。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	5	1	記録は取れている。検証と改善につなげることを強化していく必要はある。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	5	1	モニタリングは確実にを行い、保護者と支援計画について協議している。

関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	6	0	施設内に相談支援事業所が併設されている。利用者ごとの担当職員と児童発達支援管理責任者の2名が相談支援専門員と日常的に連携している。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	4	2	相談支援専門員との連絡調整により、関係機関連携を推進している。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	5	2	保護者を通してではあるが、連携体制を整えている。今年度、てんかん発作による薬の処方や救急搬送が必要になった際も、病院と保護者との連携を確実にし、医療機関につないだ。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	4	2	
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	6	0	関係機関連携での共有は極めて大切である。相談支援専門員も連携の活動に参加するように働きかけ調整している。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	4	2	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	3	3	専門機関との連携やレクチャーはとて有効である。しかし、あまり行えていない。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	1	5	ほとんどない。児童館を年に数回利用することがある程度である。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	1	5	相談支援専門員が参加することはあるが、通所の職員が参加することはない。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6	0	利用時の帰りに、担当職員が保護者に活動の様子を伝え、共通理解を図っている。
保護者への説明責任等	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	1	5	困ってみえる保護者には職員から声を掛け、相談支援との連携を図った上での相談を行っている。今後は子育てサロンなどを企画していきたいと考えている。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	6	0	当然行っている。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	6	0	当然行っている。「共有」のない支援は絵に描いた餅に過ぎない。5領域を意識した支援をいかに具体化していくかが問われている。家庭環境の整備と家庭における療育的観点での子育ては重要だと考えている。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	6	0	毎回の利用時に当日の様子を保護者に伝え、情報共有を行っている。その際、子育て等の相談も受け付け、必要に応じて面談対応を仕組んでいる。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	0	6	保護者同士のつながりを望む声が届いている。保護者会というより子育てサロンというお茶会から始めていくことを検討している。
	36	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6	0	ちょっと気になる小さな出来事についても保護者と共有を図り、困り感が生じないように心掛けている。事故の発生や苦情に対しては「日をまたがない対応」を徹底し、真摯に対応している。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	6	0	「ゆりかごメッセージ」を発行し、情報提供を発信している。使わなくなったおもちゃや絵本などの寄付の依頼もお便りでやっている。
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	6	0	当然留意して対応している。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	6	0	合理的配慮の質の向上に努力している。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	1	5	立地的に地域交流は難しいと考えている。

非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	6	1	感染情報を大きく掲示するなど、「共有」と「見える化」に心掛け、保護者にも啓発を行っている。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	5	2	職員を中心に年2回訓練を行い、消防署にも実施報告を行っている。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	7	0	服薬は毎利用時に保護者が申請し職員が共有し対応している。てんかん等の対応はどの職員も共有し確実に応急手当・救急対応できる。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	5	2	保護者からアレルギー症状について共有はしている。昼食は家庭から持参していただく弁当をお願いしている。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	7	0	二度と同じ事案を発生さないように1年前のヒヤリハット事案を職員で共有し、職員研修に活用している。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	7	0	職場内研修だけでなく厚生労働省による動画研修も全職員が受講した。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	6	0	訓練室からの飛び出し・自傷・他害等の危険がある場合に訓練室を施錠することがある。全保護者に説明し同意書も整えている。記録簿も記録している。

○この児童発達支援自己評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の職員の方に、事業所の自己評価をしていただくものです。「はい」、「いいえ」のどちらかに「○」を記入するとともに、「工夫している点」、「課題や改善すべき点」等について記入してください。